

<b>PTA活動紹介</b>		高P連受付番号	3
PTA(学校)名	愛知県立半田農業高等学校		部門No. 2
活動テーマ	新たなるふるまいへ 半農産PTA団子		
キーワード	半農産	ふるまい	PTA団子
開催日	令和4年11月5日(土)		
場所	半田農業高等学校		
時間	9時～12時30分		
参加者	PTA役員・委員 33名		
趣旨	令和元年まで、半田農業で生産された餅米を使用し、餅つきと餅のふるまいを半農祭(文化祭)で開催していたが、ここ2年コロナ禍のため、できていない。そこで、コロナ禍でも半農祭で活動できるよう、半田農業の米を利用した加工品を考え、ふるまうことにした。		
活動ポイント	半田農業高校で作られた作物や加工品を使用した品物の考案 地域の店との協力を依頼し、コロナ禍でも活動できるふるまいの考案		
主体委員会名・講師名等	PTA役員・委員の研修委員会 協力店 田中屋		

**1 目的**  
令和元年まで、生徒や保護者、地域の方に餅をつく体験活動の場をつくり、餅をふるまうことを半農祭(文化祭)で行い、交流と親睦を図っていた。しかし、ここ2年コロナ禍のため、できていない。そこで、半田農業の米を利用した加工品を考案し、ふるまうことを目的とした。

令和元年 餅つきの様子



**2 日程計画**  
 7月～8月 臨時役員会を2回開催し、文化祭でのPTA活動の内容の検討を行う。  
 9月中旬 半田農業農場部に米粉を依頼  
 9月22日 田中屋へ米粉を持参し、製造の依頼  
 9月27日 PTA役員・委員会にて試食  
 9月30日 米粉の粒子をさらに細かくしてもらうように依頼  
 10月中旬 田中屋へ米粉を持参し、製造の依頼  
 10月20日 2回目の試食 教職員  
 10月下旬 半田農業の農場部へ米粉の依頼  
 田中屋へ米粉を持参し製造の依頼  
 11月5日 8時50分までに搬入(会議室)

半田農業の米粉 →→



第1回臨時役員会の様子



**3 実施内容**  
 (1) 第1回臨時役員会 7月5日(火)  
 文化祭でのPTA活動について、餅つきでの餅のふるまいから米粉を利用した加工品のふるまいに変更した。また、①～④の案を出し、④に決定した。  
 ①半農産の餅  
 ②半農産の米粉を用いたみたらし団子で、タレは半農産のしょうゆを使用  
 ③真空パックしたもので、自宅で温めて食べられる半農産の米粉を用いたみたらし団子  
 ④自宅に持ち帰り、調理せずに食べられる団子 **決定**

(2) 第2回臨時役員会 8月2日(火)  
 団子の詳細を検討し、①～⑤に決定した。  
 ①和菓子店の田中屋に依頼し製造してもらう。  
 ②ラベルはPTAで製作し貼る。  
 ③予算は5万前後とし、2個入り120円を416パック準備する。  
 ④米粉は半田農業高校の農場部に依頼する。  
 ⑤試作品の試食日を9月27日の第2回PTA役員委員会の日とする。

ラベル



第2回臨時役員会の様子



田中屋の月見団子



(3) PTA役員委員会 9月27日(火)  
 団子の試食を行い、①～③に決定した。  
 ①半農産の米粉は、お店で使用する団子の米粉より粒子が粗いめ、団子にざらつき感がでてしまった。再度、粒子を細かくした米粉を用意し、製造してもらうことになった。  
 ②PTAの校外外の係(警備、受付、審査)の役割分担  
 ③PTA団子の配布方法は、受付で、PTAの受付係が、1家族1パック(白と黒糖の2個入り)渡す。

初回の試作品 PTA団子 9/27



(4) 改良されたPTA団子の試食 10月20日(木)  
 半農産の米粉の粒子をさらに細かくして製造したPTA団子を教職員に試食してもらった。団子のざらつき感はなく、美味しい、いくつでも食べられる等の意見をもらい、これで416パックを製造してもらうことにした。

改良されたPTA団子10/20

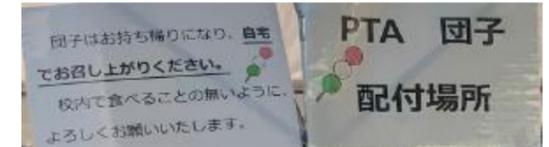


(5) 半農祭(文化祭)でのふるまい風景 11月5日(土)

ラベルを貼り、袋に入れて準備するPTA受付係



PTA団子のふるまい



4 今後の課題  
 次年度も継続できるよう検討していく。また、半田農業高校の作物や加工品を使用した新たなPTA企画品(ふるまい)を検討しPTA活動を盛り上げていきたい。